



創立20周年「納涼会」盛大に実施



2016 年 8 月 11 日、サンパルネ・コンベンションホールで東村山稲門会創立 20 周年納涼会が開かれました。17 時池田副会長の開会宣言。そして當間昭治会長より、開会あいさつとして、会員及び近隣稲門会等との親睦、コミュニケーションを増強することを目的とするとともに、早稲田大学支援の一環として、稲門祭販売品の促進と早稲田祭への寄付を実施するという趣旨を述べられました。

女子会の発起人にもなられ、若手ホープの上町弓子さんの乾杯のご発声でパーティが始まりました。

引き続き、池田副会長より、近隣稲門会（国分寺・小平・東大和・清瀬・武蔵野・西東京・東久留米・立川）と東村山三田会の来賓紹介がありました。又、旅行同好会で訪問し親交のある柏崎稲門会の水野会長から、地酒「越の誉」2 本が寄贈されたことも報告されました。

次に、母校への支援として、稲門祭記念品の販売促進を吉田（勝）副会長が訴えました。この記念品販売の実績は本日販売分を含めて 222,000 円、目標の 150,000 円を大きく上回りました。

しばらくの懇談のあと、池田副会長より、今年入学された新入学生 3 名（竹内友莉菜・小野勇輔・福島遼太郎）と早稲田祭運営スタッフ 3 名、そしてインドネシア出身の市内在住現役大学院生 2 名が紹介されました。早稲田祭運営スタッフは積極的に募金活動を実施、当会からの 10,000 円を含め 113,340 円が集まり、昨年を 15,700 円を上回る多額の寄付が参加者から手渡されました。（お礼の言葉が別掲されています。）

第二部は、滝来京子幹事の司会で始まりました。アトラクションとしては、20 周年記念事業にふさわしく、地元民族芸能『久米川祭囃子』

（熊野神社と野際神社で活動、市文化財指定）地元在住者 14 名からなる太鼓、笛、ヨスケ、舞の演奏と踊りで会を盛り上げました。



続いて、当稲門会の福田・小亀・滝川（桜）トリオのハーモニカと市川（彰）のオカリナの演奏でミカンの花咲く丘ほか3曲を全員で合唱。

そして納涼会のメインイベント、阿部・紅松・滝川（桜）さんの司会進行によるビンゴゲーム。最後に『東村山稲門会の歌』、『紺碧の空』、『早稲田大学校歌』を武蔵野稲門会諸江会長の飛び入りエールで全員の大合唱。さらに三田会の皆さんが壇上に上がり、『若き血』を合唱しました。

宴たけなわのところ、滝来京子さんの次のような閉会の挨拶がありお開きとなりました。

「本日 8 月 11 日は、『山の日』です。のぼる楽しみの山だけではなく、人生において立ちはいだかるたくさんの山があります。これからの人生の節目でさまざまな山にぶつかるでしょう。そんな困難な山にぶつかったときに、大勢の仲間がいることを忘れずに、相談したり、助け合い、それぞれの山を乗り越えていっていただきたいと思います。稲門会では、これからもいろいろな企画を立てており、どうぞ、ご参加くださいますようお願いいたします。」

今年の納涼会は、東村山稲門会 20 周年記念事業にふさわしい会となりました。（戸田 志郎 記）



早稲田祭運営スタッフからのお礼と感想

文学部 4 年 白神 真実

本日の納涼会に参加させていただいた、文学部 4 年、早稲田祭 2016 運営スタッフ校友チームの白神真実と申します。この度は、早稲田祭 2016 にご支援いただき、誠にありがとうございました。昨年度より多くのご支援（113,340 円で昨年比+15,700 円）をいただき、深く感謝申し上げます。納涼会の最中には、多くの東村山稲門会の方々に励ましのお言葉を頂き、とても素敵な早稲田の大先輩方が早稲田祭を支えてくださっていることを実感しました。当日は、至らない点もあったと存じますが、私たち学生に温かく接していただき、本当にありがとうございました。頂いたご支援は、今年度の早稲田祭の運営のために、大切にに使わせていただきます。



さて、今年度の早稲田祭は、11 月 5 日（土）、6 日（日）に開催されます。ご都合がよろしければ、ご来場いただければ幸いです。早稲田祭当日、東村山稲門会の皆様にお会いできることを早稲田祭運営スタッフ一同楽しみにしています。

20 周年記念納涼会出席者 下記 113 名（敬称略）

① 会員及びご家族 69 名

青木 淳	青山 稔	赤荻 洋一	阿部 茂	伊井 純太	井垣 和太	池田 孝	石井 久長	市川 彰彦	市川 暢男
一色 泰久	伊吹 史郎	江藤 昌明	大内 一男	大森 平八郎	岡田 一郎	尾島 敏雄	小野 浩一	小野 智	風間 和夫
上町 弓子	倉田 哲也	紅松 容子	黒田 祐司	小亀 輝雄	小菅 宏	塩田 典男	重原 真知子	清水 聡	高橋 鶴次郎
高橋 正夫	高部 素行	滝川 桜子	滝川 正義	滝来 京子	滝来 洋二	田口 政澄	武井 勇治	田代 光一	太刀岡 貴司
月森 通夫	土橋 雄次	當間 昭治	戸田 志郎	富澤 文雄	長井 治	南湖 修一	野中 昭夫	野村 茂樹	羽倉 明彦
深瀬 聡	福田 昇七	藤井 省	藤澤 博恭	堀田 秀夫	町田 光高	前田 恒文	松永 常尚	三宅 良太	森本 吏
守屋 幸一郎	安田 忠治	山下 邦康	山本 岩男	山本 優香	吉田 劭文	吉田 勝	當間夫人	倉田夫人	

② 他稲門会 19 名

清水 元	青木 壯司	野部 明敬	眞宅 康博	栗原 政博	大島 二典	平 克巳	田原 稔夫	内田 眞司	岡澤 晃一
諸江 昭雄	片岡 冬里	小野沢 純一	田坂 忠俊	古賀 良郎	緒方 章	安次峰 暁	高橋 哲男	鷺海 量良	

③ 東村山三田会 3 名

加藤 弘子	斉藤 忠義	朝木 直子
-------	-------	-------

④ 早稲田大学新入学生 3 名

竹内 友莉菜	小野 勇輔	福島 遼太郎
--------	-------	--------

⑤ インドネシア留学生 2 名

MARIO	SIGIT
-------	-------

⑥ 早稲田際スタッフ 3 名

小泉 奈緒	神永 朝記	白神 真実
-------	-------	-------

⑦ 久米川祭り囃子 14 名（内 子供 5 名）

会からのお知らせ

○ 平成27年10月 定例役員会

日時 10 月 9 日 (日) 13:00 ~ 14:30
場所 サンパルネ・コンベンションホール
(15:30 から雑学講座があります)

○ 新入会員

まちだみつたか
町田光高さん

昭和 47 年 教育学部卒
〒 189-0003 東村山市美住町 1-4-11-1-408
(会員の田代光一さんの紹介により入会して頂きました。)

特別企画 創立20周年リレー随筆 5

「思い浮かぶあれこれ」

東村山稲門会 第 2 代事務局長 井垣 和太 (昭 37 商)
平成 12 年 11 月 1 日 ~ 平成 17 年 10 月 30 日在任



私がサラリーマンから第二の人生をスタートした年、丁度東村山稲門会が発足しました。会員としての 20 年間楽しい交流をさせていただき、また役員の方々の末席も汚し、木谷幹事長・小亀事務局長の後を継ぎ、両職務統合の上事務局長としての期間、多大のご協力のもと、無事に務めさせていただきましたことを厚く御礼申し上げます。

幹事・事務局長として多くの事に関わらせていただきましたが、思いつくままに述べます。

①「稲門会ニュース」の制作とポストマン宅への配送

平成 9 年 4 月 1 日 A4 片面コピー 3 枚のホッチキス止めで会員に配られたのが稲門会ニュース第 1 号です。号を重ねるにつれ、内容が充実、現在とほぼ同じスタイルとなり、ポストマン (現パーソン) による配布方式ともども全国校友会の中でもよく話題にされるものとなりました。

私もお手伝いを早くからさせていただきましたが、事務局長拝命以降は自宅のプリンターで印刷し、役員会で三つ折り・封入作業をしたのも懐かしい思い出です。IT 化で編集作業も効率化し、54 号からはカラー印刷にして、伊藤さん (退会) と 100 号まで編集と印刷、日曜日の早朝にマイカーで市内のポストマン宅への配送もさせていただきました。配送役の 2 年間その時間帯には雨に降られたことが無かったのもラッキーな思い出です。本当の話ですよ。

② 10 周年記念イベント (平成 18 年 11 月) と東村山稲門会の歌制定

なんと言っても、事務局長としての最後のお勤めは、10 周年のイベントの企画、実施に携わった事です。実行委員会担当の役員の方達とともに、会員からのイベント基金募集活動をやり、毎月のニュースで寄付者名と口数を公表、皆さんのご協力を得て目標 150 万円の目標を超える事が出来ました。

10 周年記念事業として、「会歌の制定」と中央公民館での「ボニージャックスと歌おう」が目玉でした。「東村山稲門会の歌」は、会員からの応募者 5 名の応募作品を、委員会が編纂し、山下会長の伝手でボニーの西脇さんに曲を付けて頂きました。

今に歌い継ぐ名曲「東村山稲門会の歌」は原譜は存在せず、ボニーのたった 1 回のコーラスを CD に録音したものが元になっています。以来 10 年、愛唱歌として歌い継いできました。

平成 12 年から 17 年までの長きに亘り、初代大西会長、二代目山下会長、当時副会長の三宅さん、小亀さん、長井さん、加えて先輩諸兄、ご同輩の皆さんに支えられての充実した 5 年間でした。平成 17 年 3 月に、八国山の北側の所沢市松が丘に移住し、引き続き会員として変わらぬご厚誼を頂いております。30 周年イベントにも参加出来ますよう精進いたします。

第95回市民雑学講座のご案内

最近のテレビ出演などでお馴染みの方も多いと思いますが、東村山稲門会創立 20 周年記念事業の一環として、今回は元三重県知事として県政改革に腕をふるい、その後早稲田大学教授として、また現在は早稲田大学マニフェスト研究所顧問をされている北川正恭氏をお迎えして、講演会を開催いたします。

演題：地方創生時代—みんなで街を創ろう

日時：10 月 9 日（日）15:30～17:30（開場 15 時）

場所：東村山駅西口 サンパルネ・コンベンションホール

（講師略歴） 2003 年に三重県知事退任後、早稲田大学教授として、マニフェスト研究所を立ち上げ、現在同所顧問・早稲田大学名誉教授

今回のテーマに関連して、わが稲門会でも東村山市の地域活性化に寄与できるよう、機会あるごとに取り組んでおり、雑学講座も一般市民の参加が急増しつつありますが、この機会に市の関係者や近隣稲門会などへの参加も積極的に働きかけています。企画の中核たる会員の皆様が 1 人でも多く参加していただけるように期待いたしております。ホームページや市の公共スペースに掲示するポスターによる広報もご覧下さい。（高橋 正夫 記）

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

音楽同好会

世話人 市川彰彦 TEL 042-308-8181



暑い日が続きました。皆様のお身体は如何ですか。読書の秋、芸術の秋、音楽の秋を迎えました。音楽同好会も結成されて九周年だそうです。

楽しい音楽の場でありまよう切に願っています。当初からピアノ伴奏によって童謡、外国民謡、歌謡曲、ポピュラークラシックほか多くのジャンルから曲を歌ったり演奏しました。そのほかウクレレ、ハーモニカ、オカリナ、篠笛などの演奏を行いました。

8 月の例会ではハーモニカの合奏をしました。それから重原さんはドイツ民謡の「ローレライ」を歌ったあと元の詩をドイツ語で朗読いたしました。詩人と作曲家との背景など興味深いものです。

音楽好きの皆様へ、音楽に関することならどんなことでもご提案ください。シャンソン、カンツォーネ、ジャズ、etc.

ご家族と一緒に出かけください。

書道同好会



世話人 大森 平八郎

TEL 042-391-0535

第 2 回 書道同好会開催のご案内

日時 9 月 30 日（金） 15:40 ～ 17:00

場所 萩山公民館 萩山町 2-13-1

TEL 042-393-3107

用意いただく物：書道用具一式（筆、墨、硯、下敷、文鎮 等）

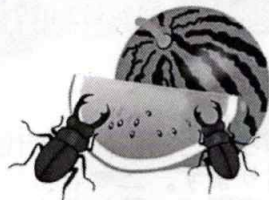
半紙は世話人が用意いたします。

初めての方は基本を一緒に練習します。手本を有する方は持参の上、練習して下さい。会員夫人の方も大歓迎です。多くの会員の方の参加を期待しております。

第 1 回、8 月 31 日（水）開催時に今後の開催日などを固めますので、10 月の稲門会ニュースに掲載を予定しております。

パソコン同好会

世話人 小菅 宏 TEL 042-391-0219
福田昇七 090-9374-8944



A クラス：作成済のマイ便箋を各種サイズに印刷しました。次に、「書道展覧会のご案内」文書の作成にチャレンジしています。文章の入力、季節の挨拶等日本の慣習に沿った文章の作り方を習得中です。

B クラス：受信メールで不要なものを複数選択して削除する手順、アドレス帳を 50 音順に並べる方法、エクスプローラの表示形式を変更する方法、アドレス帳のエクスポート（保存）等を学習しました。アドレス帳は貴重な財産ですので、パソコン不調時に備えて、リムーバブルディスクに保存しました。

参加者：下記以外にシルバー人材センターの講師 2 名がおります。

8 月 6 日： A クラス：森本、月森夫人、小菅夫人。

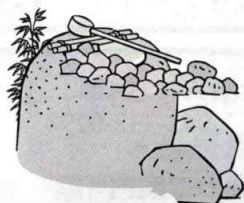
B クラス：福田、赤荻、紅松、高橋、小亀、小菅（講師）

8 月 20 日： A クラス：三宅、森本、月森夫人、小菅夫人。

B クラス：山本、福田、赤荻、小亀、小菅（講師）

俳句同好会（稲酔会）

世話人 井垣 和 太 TEL 04-2924-2934



第 87 回「稲酔」俳句会は、8 月 27 日（土）14:00 久米川駅傍「丸藤」1 階で開催しました。

兼題「踊」の句を中心に行いましたが、結果につきましては、ニュース 10 月号で報告させていただきます。

六十年踊る夜もなく過ごしけり	一 茶
はじまらん踊の庭の人ゆきき	虚 子
一踊りせんと背骨を積み直す	香代子

2 ヶ月に 1 回のペースで続けてきた、「稲酔」俳句会ですが、14 年半の間に当初からの会員は一人 400 句余りの句をこの句会のために詠んで来たことになります。立派に句集が出せますよね。

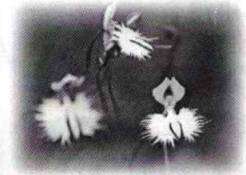
勿論、その道の達人もおられますが、初手から始められて今や立派な俳人の域に達した方々がわいわい楽しくやっている俳句会です。句会後の懇談会食がもう一つの大きな楽しみです。

次回 88 回「稲酔」俳句会は、10 月 22 日（第四土曜）14:00 ～ 行う予定です。

（稲雀 記）

園芸の会

世話人 當摩照夫・彰子 TEL 042-396-3033



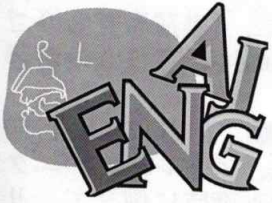
園芸の会では 8 月 18 日にサギソウの開花株の鑑賞会を開きました。ところが今年は異常気象のせいか、開花株を持参した人が藤澤リーダーを含め一人もいないという前代未聞の結果に終わりました。開花時期が早くなってもう終わってしまった、という人もいましたが、全体的には花芽がちゃんと上がってこなかったという、本当に異常な事態。さすがの藤澤リーダーもお手上げ気味という状態でした。やはり暑さ対策と、程良い日光への当て方が求められているようで、園芸はますますチャレンジングな趣味となってきました。さあ、もっと頑張りましょう。



ところで、本年は東村山稲門会創立 20 周年の節目の年ですが、園芸の会ではその記念イベントとして、11 月 19 日の東村山稲門会 20 周年総会の会場で、メンバー全員で手作りして秋蒔き草花の苗を準備して、来場される皆様に配ろうと計画しております。ゴテチャ、キンギョソウの種を手分けして 9 月末に苗床に蒔き、10 月下旬に小さいポットに移植します。藤澤リーダーが準備されるパンジー・ビオラと合わせて 2 ポットをビニール袋に入れて持ち帰れるように準備します。100 袋を用意しますので、皆様、ご期待下さい。



グローバルサロン英語の会



世話人 滝川正義

TEL 042-394-8187

小亀輝雄、山本岩男

8月16日(火) 市民センター
会議室で、第27回の会を開催致しました。

1. Listening

Voice of America の教材を使用しました。

More Than a Place, Silicon Valley Is a Culture

別紙の英文を見ながら、ゆっくり読まれている英文
を3回聞きました。

2. Singing

① ケセラセラ / Doris Day

② Say You, Say Me / Lionel Richie

3. Guest Speaker 滝川 正義 様

演題 「顔 (yien) さんのサイゴン脱出物語」

ベトナム戦争で、1975年4月30日に北ベトナムによ
るサイゴン占領の前日、会社を経営していた顔さんは、
19名の仲間と一緒にシンガポールへボートで脱出しま
した。

その後、現地で工場を再建し、現在上海、ベトナム
にも新工場を作り、成功を収めております。東南アジ
アの歴史と共に、滝川さんの体験を語って頂きました。

4. アメリカ滞在記 黒田 祐司 様

黒田さんが駐在していたインディアナ州の実情を話
して頂きました。アメリカの大学は、「Easy to enter but
difficult to graduate」であることを強調されました。

参加者 9名 (敬称略)

守屋、赤荻夫人、黒田、吉澤 (勇)、滝川 (桜)、
宮元、倉田、滝川 (正)、山本

次回は、平成28年9月13日(火)

市民センター2階 14:00 ~ 16:30 で開催します。

ゲストスピーカーは、吉澤 勇様 演題は「西カリ
ブ海クルーズとスイスアルプス山麓花のハイキングに
参加して」です。

ウォーキングの会

世話人 阿部 茂

042-332-0298



浜離宮、芝離宮を歩く

残暑も終わったころ、江戸時代
の名庭園を巡ります。二つとも江
戸時代の大庭園で、訪れた人も
多いと思いますが、浜離宮ではボ
ランティアのガイドの説明を聞き
ながら巡ります。季節の花々(コスモス、ヒガン
バナ等)も鑑賞できそうです。事前予約不要、お
気軽にご参加ください。

日時 : 9月25日(日) 9時

集合場所 : 東村山駅高田馬場行ホーム中程の
ベンチ付近

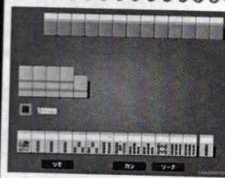
コース : 東村山→高田馬場→新橋→旧新橋停
車場→浜離宮恩賜庭園→竹芝ふ頭→旧芝離宮恩賜
庭園→浜松町

その他 : 竹芝ふ頭で昼食をとる予定です。

麻雀同好会

世話人 阿部 茂

042-332-0298



第73回大会のご案内

日時 : 9月18日(日) 12:30~

場所 : サロン「園」

TEL 042-394-4444

会費 : 4,000 円

懇親会は希望者のみ別途実費にて、東村山
駅近辺で実施。

締切 : 9月12日(月) までに阿部までご連絡く
ださい。(4で割り切れないときは助っ人を
お願いする都合があるため)

第72回大会の結果ご報告

6月19日(日) サロン「園」にて実施。佐々
木さんが初参加、メンバが増えると嬉しくなります。
結果は小亀さんが前回に続いてなんと11回目の優
勝を飾りました。手が付けられません。

参加者(敬称略) : 阿部、池田、小亀、佐々木、
滝川、田口、土橋、松永(8名)

投稿

『認知症患者の現状認識』

堀田 秀夫 (昭38 文)

皆様『永楽倶楽部』のことは余りご存じないと思います。この倶楽部創設は大隈重信晩年の念願であり、
ついに大正4年(1915年)実現され、今年めでたく百周年を迎えることになりました。しかし、つい先ごろ
まで会員数の減少により経営困難に陥りました。そこで、奥島先生第十一代会長に就任し、再建に着手し、
今日順調に発展することができました。小生、永楽のことなどまったく知りませんでしたが、人数合わせ
として加入させられました。

さて、『永楽倶楽部』の話はそれまでにして、同倶楽部 7 月 23 日に行われました前外務次官(差しさわりのありますので、氏名は書きません)の講演について報告いたします。

アメリカの大統領選挙、イギリスの EU 離脱、IS テロ、難民問題、南シナ海の判例など世界情勢は混沌としてまいりましたので、先ずその話から、その情勢分析から話が始まると思いきや、『まず足元を見つめなさい』ときました。すなわち、

- 1.我が国の少子高齢化による人口の減少。
- 2.我が国の財政赤字が 1,000 兆円を超えたこと、しかもこれを改善する論議が全く行われていないこと。
- 3.最後に、東京を中心に関東平野に人口と産業が集中し、万一巨大地震が起きたら、日本は壊滅的な打撃を受けること。

以上の事柄を私なりに分析してみたいと思います。

国として正式に人口調査(センサス)が行われたのは、1800 年イギリスであります。産業革命が順調に推移した 1860 年代から約 60 年間で、イギリスの人口は倍増しました。この期間一組の夫婦には子供の数は 3.2 人から 3.8 人でありました。現在わが国では 1.2 人から 1.4 人でありますから、おそく 12,500 万人の人口は、30 年後に 10,000 万人を下回ることになりかねません。

もはや論議の余地はありません。

我が国財政事情は極めて深刻。つい先ごろ世界をにぎあわせたギリシャ以下であります。しかも、安倍内閣は 28 兆円の補正予算を組もうしているのです。問題は日本銀行にもあります。総裁黒田氏はいささか品位に欠けますが、前総裁と異なり、大胆。思い切った政策、例えば、マイナス金利政策を極めて巧みな仕掛けで実行しました。残念ながら、その政策は今のところご自身予想していた成果を上げていないのです。当たり前のことです。お金を借りてまで、新規事業を立ち上げようとしても、企業として収益を望める新機軸が見つからないのです。ましてや世界経済は減速しているのです。

最後に関東大震災について冷静に調べてみましょう。

我々は東北地方を襲った大地震を身をもって体験しました。大津波の被害、福島原子力発電所の深刻なメルトダウンはじめ惨憺たる被害は、永久に忘れてはならないでしょう。今度襲ってくる関東大震災の歴史をたどってみますと、大正 13 年、1923 年世界恐慌おさまらない中、関東大震災が起きました。当時名古屋でこの地震を経験した祖父は、箱根の山を越えて避難してきた人がたくさんいたと話しておりました。その前は、安政の大獄のあった安政 2 年 1855 年でありました。そのまた前は元禄 16 年、1703 年でありました。震源はいずれも相模湾巨大トラフの衝突現場の大地震でありました。日本は世界に冠たる地震大国なのです。あまりにも東京や関東平野が政治経済の中心になりすぎ、政府はじめ行政機関にはどうもがいても地震対策は不可能なのです。

前外務次官はやっと我が国外回りの話に移りますが、先ず、日米安保条約は根本的に再検討を迫られていると指摘しました。「その起因はアメリカ経済の衰退、それによる軍事力低下、世界警察の地位の失墜であります。現在中国政府はこれを見据えて公船・漁船を使って魚釣島あたりを領海侵入・徘徊を繰り返しております。アメリカ政府は魚釣島帰属問題では中国政府と話し合いによって解決して下さい」と言っております。人民解放軍が魚釣島に上陸したら、アメリカ軍はどう対処するのでしょうか。対処などできないでしょう」と明言しております。

次に、前次官は国際司法裁判所が中国の南シナ海での権利主張を全面的に否定したことに言及し、現在習近平政権は内外の各方面から厳しい批判を受け、極めて困惑している状況にあると指摘しました。「よってこの機をとらえて、日本政府は中国政府と多面にわたる交渉が可能ではないか」と提案したのです。

私はこれに対しても不可と判断しております。

習近平の共産党政権は国の将来を海洋進出にありとし、基本方針に設定しております。南シナ海の現状を見ますと、交渉などあり得ないと思います。

このような中国の状況、北朝鮮原爆推進、その運搬機関テポドンなど改良は、我が国の安全に重大な脅威を増してまいりました。もはや専守防衛ではなく、相手が何か起こしたその瞬間に叩き潰す攻守防衛に切り替えなくてはなりません。出来るでしょうか。結論は簡単明瞭であります。政府のみならず国民に緊張感なく、ぼけている状況ではどうにもなりません。私ども戦後の厳しい生活難を何とか生き抜いてきた戦中戦後派には、自らの足元をしっかりと見つめなおすことしかできないのですから、『まず足元を見よ』とは誠に意味深長であります。

同好会等 短期予定表

同好会・行事	9 月					10 月					世 話 人 (問合せ先)	
	日	曜	時 間	場 所	備考	日	曜	時 間	場 所	備考		
ウォーキングの会	25	日	9:00	東村山駅上りホーム		—	—	—	—		高橋正	042-309-3407
郷土史の会	—	—	—	—		25	火	9:00	東村山国分寺行ホーム		高橋正	042-309-3407
テニス同好会	12	月	9:00～13:00	運動公園コートC		12	水	13:00～15:00	運動公園コートE		野村茂	042-393-7036
	26	月	9:00～11:00	運動公園コートC		17	月	9:00～13:00	運動公園コートCD			
	28	水	11:00～13:00	運動公園コートE		22	土	11:00～13:00	運動公園コートC			
	—	—	—	—		31	月	9:00～13:00	運動公園コートA			
囲碁同好会	—	—	—	—		15	土	13:00～	市民センター別館		福田晃	042-394-0593
カラオケ同好会	10	土	19:30～	カラオケランドズー		9	日	19:00～	カラオケランドズー		南湖	042-390-2287
	—	—	—	—		—	—	—	—			
園芸の会	—	—	—	—		—	—	—	—		當摩	042-396-3033
麻雀同好会	18	日	12:30～	サロン「園」		—	—	—	—		阿部	042-332-0298
音楽同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		市川	042-308-8181
俳句同好会	—	—	—	—		22	土	14:00～	「丸藤」2階		井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	8	木	7:15	西武園ゴルフクラブ		—	—	—	—		紅松	042-393-6924
グローバルサロ英語の会	13	火	14:00～16:30	市民センター2階		18	火	14:00～16:30	市民センター2階		滝川正	042-394-8187
女子会	3	土	11:00	一ツ橋学園駅改札口		—	—	—	—		滝川桜	042-394-8187
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—		29	土	12:00	神宮球場	早慶戦	大内	042-393-6543
書道同好会	30	金	15:40～17:00	萩山公民館		*	*	*	*		大森	042-391-0535
パソコン同好会	3	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	勉強会	1	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅	042-391-0219
	17	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	勉強会	15	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	勉強会		
雑学講座	—	—	—	—		9	日	15:30～17:30	サンパルネ		當間	042-391-6023

編集後記

- 9月号の編集作業は台風9号通過の最中で行いました。毎度異常気象の話で恐縮ですが、今年はまず台風1号の発生が異様に遅かったと思ったら、来始めたら矢継ぎ早で数珠繋ぎ。夏の暑さをもたらす太平洋高気圧の位置が今年は異常で、北東に大きくずれている。そのへりを回って台風が来るので、日本列島の東側をかすめて関東から北海道へと進むというわけなのですが、こんなの筆者の乏しい良い知識では全く理解できません。この後は、一体何が起こるのでしょうか。早くすがすがしい普通の秋が来て欲しいものです。
- リオ・オリンピックが閉幕しました。日本選手の活躍は見事でした。4年後が楽しみです。
- 次号の締め切りは9月24日(土)です。皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

Fax : 042-396-5698 Email : teruo_tohma@ozzio.jp (當摩照夫)

俳壇

一斉に空翳り来て青田波 出田 麦穂
 芋の葉を水玉一つ零れたり 菊田 一平
 三伏の音をしづかに心電図 黒田 柿黒
 ひまはりの花の迷路を右ひだり
 終電車月のさし込む障子かな 小亀 稻生
 敗戦日百年振りに圭メダル 高部 糸行
 教室の時間が止まった夏休み 波多野 敏治
 仏壇に向日葵そなへ父母忍ぶ 八木 竜湖
 葉月逝く多彩な趣味の慎先輩 山下 波雲
 連れ求め余命忙しき秋の蟬 栗島 三郎
 「先づビール」五十余年も言ひつづけ 井垣 稻雀
 朝顔や昨夜の思案は昨夜のこと
 空蟬の登りきれずに幹の下
 銀で泣き銅に喜び蟬時雨
 資料館の涼しきところオバマの鶴
 風待ちてオバマの鶴の羽さやか
 忘れざる想いくつか終戦忌
 空映し緑うつして夏の川
 風流なり句会当日逝きし君
 パチパチと線香花火生きている
 内藤さん逝く(六月二十五日)